

令和7年12月17日付【環境新聞】

＜上下水道予算の確保など要望＞

国交省上下水道審議管 G に提案書



中西会長

協 上下水道予算の確保など要望 水 コ 国交省上下水道審議官 G に提案書

全国上下水道コンサルタント協会（水コン協）は2日、国土交通省上下水道審議官グループの幹部を訪問し提案書を提出、意見交換した。提案では、①上下水道事業の継続のための事業執行予算の確保の徹底化する災

害に対する強い上下水道の構築・推進②新時代の上下水道への取り組みの推進について、水コン協の考えや取り組み、国への要望などを挙げた。意見交換会の冒頭で水コン協の中西新一会長は「当業界では人材の確保や技術の継承などが課題となっている。その対策として業界の魅力向上に取り組んでいるが、人材確保のベースとなるのが事業量・事業費の確保」

だとし、上下水道予算の十分な確保を求めた。これを受け石井宏幸上下水道審議官は「今年は事故が相次ぎ、上下水道の安全・安心への懸念が高まっている。国民の懸念を払拭していくためにも、地方公共団体の老朽化対策あるいは耐震化の取り組みを支援してい

く」とし、今年度補正予算や来年度概算予算で必要な額を確保していくと応えた。また、国民の上下水道への関心の高まりを一過性のものにせず、老朽化のリアルな実態を「見える化」する取り組みもしっかり進めていくと述べた。